

館報

No. 35

1987. 1.

二つの『とりかへばや』
— 王朝末期の物語 —

1987年版学術雑誌購読
変更のお知らせ

学年末・春季休業期間
中の利用について

二つの『とりかへばや』

—— 王朝末期の物語 ——

辛 島 正 雄

今日、私たちの手もとに残された物語文学作品は、有名・無名、完本・残闕本とさまざまであるが、すべてで三五作ほどにのぼる。もっとも、往時は無慮三〇〇にも達しようかという作品の存在が知られることからすれば、残存率は一割程度、古いものでは一〇〇〇年以上、新しくとも六〇〇年に及ぶ時の流れに堪える必要があったわけで、湮滅の危機をしのぐことのむずかしさがあらためて痛感されるのであり、同時に、今に残りえた作品がいかに貴重すべきかも再認識されるのである。

しかし、それら三五ほどの作品が、おしなべて大切にされているかといえば、そうはゆかない。質量ともに最高峯の名に恥じぬ『源氏物語』と、「物語の出で来はじめの祖」としての榮譽を荷う『竹取物語』が、国民的文学として別格であるほか、シンデレラ型の継子いじめ譚である『落窪物語』と異色の短編集『堤中納言物語』の人気がある以外は、ほとんど無名というに近いのではあるまいか。

ところで、三五もの作品といっても、『源

氏』以前の作品はわずかに三作、残りはすべて『源氏』以後の作なのである。

物語文学史上における『源氏』の存在は、まことに大きい。それは、ただにその卓越した文学性によってそういえるのみならず、以後の物語のありかたをほとんど絶対的に決定づけたという影響力の甚大さにおいて、まさしく空前絶後であった。

今日の私たちの文学観は、独創性や新鮮さを尊ぶ、いわば進歩主義的文学観であるといつてさしつかえあるまい。このような眼に、『源氏』以後の物語は、いずれもがあまりに色濃くその面影を宿しているように映る。従来、これらの物語に対して、模倣作・亜流というレッテルが貼られてきたのも、無理からぬところはある。が、物語は、現代の私たちの文学観によって書かれたものではない。

たしかに、進歩主義的文学観からすれば、スタイルの洗練はあるとしても、しよせんは『源氏』の二番煎じと見えるその後の物語よりは、荒削りながらも、可能性と熱気とを感

じさせる成長期の物語の方に評価が傾くのも、自然のなりゆきである。しかし、鎌倉初期になった物語評論の書『無名草子』が、

『源氏』よりは前の物語ども、『うつほ』をはじめてあまた見て侍るこそ、皆いと見どころ少なく侍れ。

と言い切って、『源氏』以前の物語には目もくれず、もっぱら『源氏』以後の物語の批評に終始していることなどを見るとき、むしろ物語の歴史の本格的なスタートは、『源氏』からであったのではないかとさえ思われる。

元来、物語とは、先行する多くの文学的結実を貪欲なまでに摂り込むところに、その本性ともいうべきものがあった。あの『源氏』の達成が、いかに夥しいまでの和漢の先行文学からの滋養によって支えられているかは、古注釈の昔から屢々説かれるとおりである。それゆえ、『源氏』以後の物語がその影響を蒙るのは、『源氏』のすばらしさを認める以上、必然であった。要は、その影響の質である。影響の有無自体は、本質的な問題ではない。

こうした点において、『源氏』以後の物語の正当な評価は、今後の課題である。いわれるように、『源氏』をしのぐ、あるいは匹敵する大傑作が現われなかったのは事実としても、『源氏』によって飛躍的な高みに達した物語文学が、瞬間に地に墮ちたというならいざ知らず、実際は、それぞれに個性的な相貌をもった作品が、それ相当の水準を保ちつつ、以後三〇〇年以上も作られ続けていたということは、やはり一つの驚異ではあるまいか。今は、一つ一つの作品を丁寧に読み解いてゆく努力を重ねるよりほかない。

さて、小文では、そのような『源氏』以後の物語の中であって、ひととき異彩を放つ存在として知られる『とりかへばや物語』について述べてみたい。

実は、『とりかへばや』といっても、『無

名草子』等によれば、新旧二種のあったことが知られる。そして、諸資料の綿密な比較調査から、現存する『とりかへばや物語』は、新作の『今とりかへばや』（以下、時に今本と略す）の方であることが明らかになった。旧作の方（もと『とりかへばや』と呼ばれたが、今本との区別のため、以下、便宜上『古とりかへばや』と呼び、時に古本と略す）は散佚してしまったらしく、今日では見ることができない。したがって、両者の関係についての十全な把握は、一方の散佚によってかなえられないのであるが、類似点や相異点については、『無名草子』の記事がかなりの手がかりを与えてくれる。

この二つの〈とりかへばや〉物語の構想を支える共通のモチーフは、男女きょうだいの性の偽装と、その本来の姿への復帰とである。従来、この趣向を〈性転換〉ということばで表わすことが多く、とかく猥雑なイメージで捉えられがちであったが、生物学的な意味でのそれとはおよそ無縁である。要するに、男装と女装にすぎない。

それにしても、これがはなはだ奇矯な趣向であることは争いえないところであろうし、ことに『古とりかへばや』の方は、『無名草子』に、『とりかへばや』こそは、続きもわろく、もの恐ろしく、おびたたしき^け気したるもの^のさま、なかなかいとめづらしくこそ思ひ寄りためれ。

と概評があつて、『源氏』的な〈ものあはれ〉を纏綿と綴る作風からは、かなりはずれるようである。知られる内容の中にも、男装の麗人女中納言が、死して後甦ったり、その運命が鏡（閻魔王庁にある浄玻璃の鏡のようなものか）にありありと写し出されたりと、一見暗黒小説を思わせる世界がほの見える。泰平を誇った平安朝も終わりにさしかかり、末法の世に入ったとされる世紀末の雰囲気も反映するものとする、まことに興味が深い。

ここには、近代人好みの、新しい物語の可能性さえ開けてきそうなのである。だが、この『古とりかへばや』は、生き残らなかった。一方、同じく『無名草子』は、『今とりかへばや』を評して、

ただ今聞えつる『今とりかへばや』など本にまさり侍るさまよ。何事も物真似まねびは、必ず本には劣るわざなるを、これは、いと憎からずをかしくこそあめれ。という。伝統の尊ばれた当時とて、単なるものまねに芳しい評価の与えがたいことに、変りはない。『今とりかへばや』は、出藍の青だったのである。

では、いったい、何がどう変わったのか。全体としては、『古とりかへばや』に見えた怪奇な趣向がことごとく排除されていることが目につく。この物語に必須のきょうだいの本来の姿への復帰ということも、古本では「もとの人々皆失せて、いづこなりしともなくて新しう出で来」といったありさまで、苦しまぎれの処置ででもあろうが、「いとまことしからず」と酷評されることになる。それが『今とりかへばや』では、お互いになりかわって登場するということで、よほど無理が少なくなっている。このような点から、古本から今本への改変は、基本として、不自然さ・奇怪さを解消する、合理化・穏和化の方向にあるといわれる。

が、いま少し仔細に見ると、『今とりかへばや』には、もっと積極的な主題意識のようなものが働いていたようである。新旧両作の相異点を整理して、その根底にあるものを窺うならば、それがことごとく女中納言の造型に関わるものであることに気づかせられる。そこから結論のみを端的にいうならば、『今とりかへばや』とは、数奇な運命を辿った、ひとりの女性にょしやうの物語である。『古とりかへばや』には、そのようなかたちでの作品的統一性はなかったものと思われる。

古本での女中納言は、「いと憎きに」と、不評をかっている。もっぱら女性読者を目当てとする物語であってみれば、今日の宝塚歌劇団をもち出すまでもなく、男装の麗人という設定そのものへは、反発よりは期待や興味の方が大きいであろう。ところが、肝腎のその造型が同情しがたいものであったところに、古本の失敗があったのではなからうか。今本では同じ人物が、現在のおのが姿をあるまじきことと悩みながらも、その姿を続けるよりほかに、にもかかわらず、その美貌・才学は当代に冠絶していた、といった具合に、いかにも女心をくすぐりそうな、きわめて理想的な造型がなされている。そのかれが、正体の露見一懐妊一秘密の出産一本来の姿への復帰、といった厳しい試練を越えつつ、成長を遂げ、最後には、帝寵を受けて皇子を出産、中宮となるという、女としての最高の世俗的栄華につつまれたところで物語は幕となる。大団円は物語での約束事のようにもいわれるが、ヒロインとともに一喜一憂してきた読者にとって、これが満足のゆく結末であったこともたしかであろう。作者はその呼吸を、十分に心得ていた人ではあるようだ。

もちろん、これをもって通俗小説的ということはやさしい。だが、純文学といい、大衆小説といい、それらを区別せねばならぬいわれはどこにあるのか。物語はしよせん女子どものなぐさみもの、そこにたまたま深い文学性をも見出だしうるからといって、それこそが物語の本質であると逆にいうわけにはゆかない。

いかほど才能に恵まれていようと、人生の可能性も限られ、つまらぬ男性の従属物のようにして一生を送るしかなかった王朝の女性たちにとって、この『今とりかへばや』は、ひととき現実の縄縛を解き放ち、カタルシスをもたらしてくれるものとしては、上々の出来といつてさしつかえないのではあるまいか。

ここに古本の毒を期待する向きにはいかにももの足りないとしても、それはしよせんないものねだりであろう。

『今とりかへばや』なる題号は、作中二度だけ用いられる、わが子の普通でないことを嘆く父の気持「とりかへばや」（取り替えたい、の意）に由来し、いかにもこの物語の作風にふさわしいのであるが、『古とりかへばや』も同様の命名のされかたであったという保証はない。『源氏』以後の物語の多くには、優美な歌語による題号がついている。『さごろも』『ねざめ』『みつのはままつ』等々。とすると、「とりかへばや」という日常語をあえてもちきたった古本の作者は、その卑俗なニュアンスそのままに命名したのではなかったか。光源氏は女性のように美しかった。もし目の前にいるこの美しい男が、本当は女

だったら……。この男を女にとりかえたい。古本の女中納言が、その正体を見露あらわわした内大臣の北の方でおさまっているのは、それが内大臣の「とりかへばや」の願いの成就であったことをものがたっているのかも知れない。

ある意味で、『古とりかへばや』は、『源氏』の桎梏から逃れようとする果敢な試みであった。だがそれは、読者の十分な共感を得られぬまま、男装の麗人という特異な趣向を生かすことによって、『源氏』『寝覚』と続く正攻法の〈女の物語〉として生まれかわった。その後、古本は滅び、両者の区別の必要のなくなったところで、『今とりかへばや』の「今」は外され、今日に至ったのであった。ここに時代の子であった物語の限界を見ることは、やはり認められねばなるまい。

(教養部講師 日本文学)

本学教官著作寄贈図書

(昭和61年5月～昭和61年11月受入分)

(本 館)

(受入順・敬称略)

著 者	書 名	出 版 社	寄 贈 者
佐野勝徳	生活リズムと子どもの育ち	中央法規出版	佐野勝徳
佐野勝徳 河添邦俊	子育ては保育所とともに	エイデル研究所	〃
山本米雄 監修	ソフトエデュケーション	日本教育心理研究所	山本米雄
馬場則夫	PC-9801パソコンゲーミング手法	日刊工業新聞社	馬場則夫
中谷武雄 編 柳ヶ瀬孝三	教育費を見直す	大月書店	中谷武雄
定本正芳	農業地理学の理論	大明堂	定本正芳

(分 館)

著 者	書 名	出 版 社	寄 贈 者
高杉 益充 監修	薬剤識別コード事典 改訂版	医薬ジャーナル社	高杉 益充
川 田 十三夫 俣 野 景 典	最新食品衛生学	講 談 社	川 田 十三夫
高杉 益充	新薬情報学 改訂4版	医薬ジャーナル社	高杉 益充
久保田 晴寿 編	無機医薬品化学	廣 川 書 店	久保田 晴 寿
徳島大学医学部 同窓会大学史 編集委員会 編	徳島大学医学部史 第一巻 徳島医学専門学校	徳島大学医学部 同窓会青藍会	徳島大学医学部 同窓会
大 崎 勝一郎	突発性難聴	金 原 出 版	大 崎 勝一郎
徳島大学医学部 脳神経外科学教室編	徳島大学医学部脳神経外科学教室 開講十周年記念業績集 第一部, 第二部	徳島大学医学部 脳神経外科学教室	徳島大学医学部 脳神経外科学教室
斎 藤 隆 雄 編	麻醉科学	真興交易医書出版部	斎 藤 隆 雄
高杉 益充 編 垂井 清一郎	薬剤副作用・軽減化の工夫	医薬ジャーナル社	高杉 益充
徳島大学医学部 細菌学教室同門会	徳島大学医学部細菌学講座 研究業績目録(昭51.4月-昭61.9月)	徳島大学医学部 細菌学教室同門会	徳島大学医学部 細菌学教室

資料利用案内

1. Chemical Abstracts.

1 [1907]-83 [1975].
5th Decennial Index. [1947-1956].
7th-8th Collective Index. [1962-1971].

2. 朝日新聞記事総覧

大正編 全3巻, 人名索引
大正8年~昭和元年
昭和編 全11巻, 人名索引
昭和2年~昭和33年

3. 朝日新聞(大阪版・マイクロフィルム)

明治12年(創刊号)~昭和44年, 以降縮刷版
上記 1, 2 は本館研究雑誌閲覧室に, 3の朝日新聞(大阪版・マイクロフィルム)は, マイクロリーダー室に収納してあります。御利用ください。

1987年版学術雑誌購読変更のお知らせ

常三島・蔵本両地区における 1987年版 学術雑誌の購読が次のとおり変更になりました。ここには両地区間の重複雑誌を除いて掲載しました。

新規購読雑誌

(常三島地区)

Abacus : Journal of Accounting and Business Studies. (AUS)	総 (産業経)
Accounting Review. (USA)	総 (産業経)
Art/Life. (USA)	総 (美術)
Australian Geographer. (AUS)	養 (地理)
Australian Geographical Studies. (AUS)	養 (地理)
Bulletin of the Atomic Scientist. (USA)	総 (行動科)
Cimaise. (FRA)	総 (美術)
Communication Monographs. (USA)	総 (行動科)
Communication Research. (USA)	総 (行動科)
Communications. (USA)	総 (行動科)
Contemporary Sociology. (USA)	総 (行動科)
Current Contents : Engineering, Technology & Applied Sciences.(USA)	図 書 館
Deutsches Verwaltungsblatt. (DEU)	総 (法律)
Environment and Planning. Sect. A. (GBR)	総 (行動科)
Fortune. (USA)	総 (産業経)
Geografiska Annaler. Ser. B. (SWE)	養 (地理)
International Journal of Sports Psychology. (ITA)	養 (保体)
Izvestiia Akademii Nauk SSSR. Serii Matematicheskaja. (SUN)	総 (数理情)
Journal of the Air Pollution Control Association. (USA)	工 (化工3)
Journal of Communication. (USA)	総 (行動科)
Journal of Mathematical Biology. (DEU)	総 (数理情)
Journalism Quarterly. (USA)	総 (行動科)
Kunstmagazin. (DEU)	総 (美術)
Labor Law Journal. (USA)	総 (法律)
Matematicheskii Sbornik. (SUN)	総 (数理情)
Mathematical Intelligencer. (DEU)	図 書 館
Mechanisms of Aging and Development. (USA)	養 (保体)
Media Culture and Society. (GBR)	総 (行動科)
Muscle and Nerve. (USA)	養 (保健体)
Neue Juristische Wochenschrift. (DEU)	総 (法律)
Newsweek. (USA)	総 (行動科)
New York Review of Books. (USA)	総 (行動科)
New Zealand Geographer. (NZL)	養 (地理)
Nuclear Fusion. (AUT)	工 (電子1)
Numerical Heat Transfer. (USA)	工 (機械3)
Die Offentliche Verwaltung. (DEU)	総 (法律)
SIAM Journal in Mathematical Analysis. (USA)	図 書 館
Social Problems. (USA)	総 (行動科)
Social Science Research. (USA)	総 (行動科)

Social Studies. (USA)		総 (行動科)
Stochastics. (GBR)		総 (数理情)
Strategic Review. (USA)		総 (行動科)
Studio International Journal of Art and Design. (GBR)		総 (美術)
Sunday Times with Colour Magazine. (GBR)		総 (英文)
World Politics. (USA)		総 (行動科)
Computer Today. (JPN)		総 (数理情)
文学遺産		総 (国文)
中国画報		総 (国文)
電気学会研究会資料 高電圧		工 (電気3)
月刊 福祉		総 (行動科)
判例 地方自治		総 (法律)
復印報刊資料	先秦秦漢史 魏秦南北隋唐史	
	宋遼金元史 明清史 中国近代史	総 (史学)
人民中国		総 (国文)
考古学研究		総 (史学)
考古学雑誌		総 (史学)
レクレーション		総 (体育)
社会福祉研究		総 (行動科)
史 潮		総 (史学)
東洋史研究		総 (史学)

(蔵本地区)

Biochemical Genetics. (USA)		医 (動物)
Biophysical Journal. (USA)		医 (生物薬)
Clinics in Dermatology. (USA)		医 (皮膚)
EMBO Journal. (European Molecular Biology Organization)(GBR)		医 (酵研)
International Journal of Colorectal Disease. (DEU)		医 (一外)
International Journal of Pancreatology. (NLD)		医 (一外)
Journal of Heredity. (USA)		医 (動物)
Kidney International. (DEU)		医 (小児)
Laboratory Animals. (GBR)		医 (動物)
Lymphology. (USA)		医病(心血外)
Pathdex. (USA)		医 (一病)
Scandinavian Journal of Thoracic Cardiovascular Surgery. (SWE)		医病(心血外)
Ultrasound in Medicine and Biology. (GBR)		医 (産婦)
ASCII (アスキー)		歯 (一補綴)
児童青年精神医学とその近接領域		医 (精神)
Journal of Clinical Biochemistry and Nutrition.		医 (特栄)
理学療法		医病(理療)
臨床スポーツ医学		医 (整外)

購読中止雑誌

(常三島地区)

Advances in Mathematics. (USA)		図 書 館
Agents and Actions. (SWE)		図 書 館
American Journal of Agricultural Economics. (USA)		総 (経 済)

American Psychologist. (USA)	総 (行動科)
Annual Review of Plant Physiology. (USA)	総 (総合物)
Ariel. (CAN)	総 (英文)
Behavior Research and Therapy. (USA)	総 (行動科)
Biometrics. (USA)	図 書 館
Bulletin of the Psychonomic Society. (USA)	総 (行動科)
British Journal of Educational Psychology. (GBR)	総 (行動科)
Cahiers Internationaux de Sociologie. (FRA)	総 (行動科)
Canadian Journal of Psychology. (CAN)	図 書 館
	開 実 七
Cognitive Science. (USA)	総 (行動科)
Computers and Industrial Engineering : an International Journal. (USA)	図 書 館
Crustaceana. (NLD)	総 (総合物)
Electronics. (USA)	工 (情報 4)
Exceptional Children. (USA)	総 (行動科)
General and Comparative Endocrinology. (USA)	総 (総合物)
Giornale degli Economisti e Annali di Economia. (ITA)	総 (経 済)
International Journal of Computer Mathematics. (GBR)	工 (情報 1)
International Journal of Invertebrate Reproduction. (NLD)	総 (総合物)
International Journal of Physical Education. (DEU)	養 (保 体)
Journal of Abnormal Psychology. (USA)	総 (行動科)
Journal of Biological Education. (GBR)	総 (総合物)
Journal of Child Psychology and Psychiatry. (USA)	総 (行動科)
Journal of Educational Psychology. (USA)	総 (行動科)
Journal of Educational Research. (USA)	総 (行動科)
Journal of Experimental Education. (USA)	総 (行動科)
Journal of Genetic Psychology. (USA)	総 (行動科)
Journal of Geophysical Research. B (USA) Red Covered Section.	総 (総合物)
Journal of Personality and Social Psychology. (USA)	総 (行動科)
Journal of Volcanology and Geothermal Research. (NLD)	総 (総合物)
Mathematics of the USSR - IZVESTIA. (USA)	総 (数理情)
Mathematics of the USSR - SBORNIK. (USA)	総 (数理情)
Mineralogical Abstracts. (GBR)	総 (総合物)
Modern Language Review. (GBR)	総 (英文)
The Observer, ELF Service. (GBR)	総 (英文)
Proceedings of Institute Mechanical Engineers. A. (GBR)	工 (機械 2)
Psychological Abstracts. (USA)	総(行動科), 養(保体, 心理)
Psychological Bulletin.	図 書 館
Psychological Review. (USA)	養(保体), 図 書 館
Revista di Economia Agraria. (ITA)	総 (経 済)
Revista Internazionale di Scienze Economiche e Commerciali. (ITA)	総 (経 済)
Revista Internazionale di Scienze Sociali. (ITA)	総 (経 済)
Revue de Economie Politique. (FRA)	総 (経 済)
Revue d'Histoire Economique et Sociale. (FRA)	総 (経 済)
Schweizerische Mineralogische und Petrologische Mitteilungen. (SCH)	総 (総合物)
SIGPLAN Notices. (USA)	工 (情報 1)
SIGSOFT Software Engineering Notes. (USA)	工 (情報 1)

Soil Science. (USA)	工 (建設 1)
Soviet Mathematics-Dokulady. (USA)	総 (数理情)
Stanki i Instrument. (SUN)	開 実 セ
Studies in Philology. (USA)	総 (英 文)
Theoretical Computer Science. (NLD)	総 (数理情)
Theory and Society. (NLD)	総 (行動科)
Uspekhi Matematischeskikh Nauk. (SUN)	総 (数理情)
Botanical Magazine. (JPN)	総 (総合物)
Geochemical Journal. (JPN)	総 (総合物)
Psychologia. (JPN)	総 (行動科)
新しい数学研究	開 実 セ
ちいさいなかま	総 (行動科)
第四紀研究	総 (総合物)
電子通信学会技術研究報告 コンピューテーション	工 (情報 1)
英語教育 (開隆堂)	総 (英 文)
英語の窓	総 (英 文)
母と子	総 (行動科)
海洋科学 別冊, 増刊共	総 (総合物)
キンダーブック 1-3.	総 (行動科)
教育科学 算数教育	開 実 セ
教育心理	総 (行動科)
教育心理研究	総 (行動科)
教育心理年報	総 (行動科)
農業と経済	総 (経 済)
歴史公論	総 (史 学)
総合教育技術	総 (行動科)
体協時報	教 (保 体)
幼児開発	総 (行動科)

(蔵本地区)

Anaesthesist. (DEU)
Clinical Microbiology News Letter. (USA)
Dental Laboratory Review. (USA) 廃刊
European Journal of Nuclear Medicine. (DEU)
International Journal of Radiation Application. (GBR)
Journal of Clinical Pathology. (GBR)
Pharmacy International. (NLD)
Science Digest. (USA) 廃刊
United States Pharmacopeia Dispensing Information. (USA)
癌と化学療法
高齢医学 (Geriatric Medicine)
日本外科学会雑誌
日本平滑筋学会雑誌
日本臨床外科医学会雑誌
日本生理学雑誌
消化器外科
消化器科
胆と膵

会 議

附属図書館運営委員会

(昭和61年度)

- 第2回 昭和61年5月19日(月)
(於：蔵本分館)

議 題

1. 昭和60年度附属図書館経費決算書について
2. 昭和61年度附属図書館経費所要額(案)について

- 第3回 昭和61年7月21日(月) (於：本館)

1. 昭和61年度学生用図書購入費配分(案)について
2. 昭和61年度参考図書購入費配分(案)について
3. 昭和61年度教養図書購入費配分(案)について

学年末・春季休業期間中の利用について

学生休業期間中(3月25日～4月10日)の
図書館利用は次のとおりです。

1. 開館時間

月曜日から金曜日まで……

午前9時から午後5時まで

土曜日…午前9時から午後0時30分まで

2. 貸出期限の延長

3月16日(月)から4月3日(金)までの学生の
貸出については、貸出期限を4月13日(月)ま

で延長します。

蔵本分館は、特別な貸出期限の延長は行
いません。貸出期限超過にならないよう十
分注意してください。

3. 学外図書館の利用

帰省等のため、他の大学図書館を利用す
るには館長、分館長の紹介状が必要です。
本館運用係又は分館情報調査係まで申し出
てください。

目

二つの『とりかへばや』……………1	
— 王朝末期の物語 —	
本学教官著作寄贈図書……………4	
資料利用案内……………5	

次

1987年版学術雑誌購読変更のお知らせ…………6	
会 議……………10	
学年末・春季休業期間中の 利用について……………10	

編集：発行

徳島大学附属図書館

(〒770)

徳島市南常三島町2丁目1番地 徳島(0886)23-2310 内線(6111)